

平成30年度第3回パートナーシップのまちづくり推進会議次第

平成31年3月12日（火）
午後7時から
ひと・まちプラザ 3階 集会室

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 大きな共通課題の解決に向けた取組について

①取組方針の確認 【資料1】

②取組の状況報告 【資料2】

③質疑・提案

(2) 準備委員会要領について 【資料3】

(3) 来期推進会議の方向性について 【資料4】

(4) その他

5 閉会

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 目的を共有する | ⑥ コミュニケーションを大切にする |
| ② 情報を共有する | ⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解 |
| ③ パートナーシップのまちづくりを理解する | ⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める |
| ④ 丁寧に合意形成を図る | ⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進 |
| ⑤ 対等な立場で相手を尊重する | ⑩ 人材を育成する |

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	茅野市の21世紀の福祉を創る会
取組み項目①	① 目的を共有する ② 情報を共有する
取組み方法	幹事会、円卓会議、各部会が目的を共有し、福祉でまちづくりを行う。 1 四半期に一度、取組・進捗状況を円卓会議で確認 2 共通の課題を円卓会議で確認し、どの部会が取り組むか確認 3 1年に1回PDCAを回す
取組み状況	6月に円卓会議で各部会の取組状況、今後の取組方法を確認しました。 現在、取組方法を幹事会で検討しています。 また、12月に円卓会議を開催し、推進会議で確認された主な共通課題を意識しながら、取り組むことを確認しました。 今後は、住民とともに取組を進めたいと考えています。(運協健康福祉部会、区・自治会など)
取組み項目②	
取組み方法	
取組み状況	

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	美サイクル茅野
取組み項目①	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
取組み方法	<p>各種団体と連携して実施しているエコフェスタについて、幅広い年代の多くの市民に参加してもらい、環境に対する意識の向上を図る。</p> <p>1 特に若い世代(高校生)に対して参加を働きかける</p> <p>2 子どもとその親の参加者を増やす</p>
取組み状況	<p>1 市内の2つの高校を訪問し、美サイクル茅野の活動を紹介することで、エコフェスタの意義を理解してもらい、生徒会の協力で実施した。</p> <p>2 子どもとその親の世代に興味を持ってもらえるよう、各種団体と連携してプラネタリウム、工作等を新たに企画した。</p> <p>エコフェスタを通じて、美サイクル茅野が行っている環境活動をPRすることができた。</p>
取組み項目②	④ 丁寧に合意形成を図る ⑥ コミュニケーションを大切にする
取組み方法	<p>役員会及びごみ減量部会の会議において、会議出席者から意見を出しやすくするため、議題をわかりやすくすること、情報を共有することなどを工夫して行った。</p>
取組み状況	<p>会議の議論を深めるために、各委員の意見を整理するため、また、少数の意見を取り入れるため、議題の内容をアンケート形式のシートにして配布し、次の会議でそれをもとに発言することとした。</p> <p>それにより、様々な意見が出て、活発な議論ができた。</p>

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	どんぐりネットワーク茅野
取組み項目①	① 目的を共有する
取組み方法	<p>幹事同士及び事務局と、目的や事業内容の認識にずれが生じないよう次の事を行った（行っている）。</p> <p>1 「どんぐりネットワーク茅野基本方針」の確認を行った。</p>
取組み状況	<p>第3次どんぐりプランの策定に合わせ基本方針を改定し、確認を再度幹事会で行ったことで、趣旨、活動内容を全体で共有できた。</p> <p>また、幹事懇談会を開催し、どんぐりネットワーク茅野のあり方、事業内容について議論を行ったことにより、幹事同士で目的の共有化を図ることができた。</p> <p>今後は幹事と事務局との目的の共有化をさらに進めていきたい。</p>
取組み項目②	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
取組み方法	<p>1 どんぐりプラン推進のつどい（地区こども館・子育て関係者会議）の開催</p> <p>2 拡大幹事会の開催</p> <p>3 各種団体の情報を発信する「サークル通信」の発行</p> <p>4 サークル通信に掲載されている各種団体をつなぐ会の開催検討</p>
取組み状況	<p>どんぐりプランを推進（各種団体・組織・機関との連携と活動の理解）するための2月7日に「どんぐりプラン推進のつどい」を開催した。</p> <p>拡大幹事会の開催により幹事に入っていない子育て関係団体との連携を強めることを検討した（今年度は実施しない）。</p> <p>また、毎年1回「サークル通信」の発行を行っているが、サークル同士の関係が薄いと思われるため、サークル同士をつなぐ会の開催を検討している。</p>

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	茅野市地域情報化推進ネットワーク・NPO 法人みんなでeネット
-------	---------------------------------

取組み項目①	① 目的を共有する ④ 丁寧に合意形成を図る ⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
取組み方法	両組織の役員による意見交換会を開催し、公民協働活動及び団体の今後の方向性について、話し合いを行っています。
取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民組織のメンバー固定化、公民協働事業のあり方などの課題を検討していくため、平成30年度は8月から6回にわたり市民組織とNPO法人の役員による意見交換会を開催してきました。 今のメンバーから紹介を受けた、新しいメンバーの参画を図りながら、平成31年度当初に市民組織の組織体制を再編します。 「茅野市ICT活用戦略」の基本理念に沿って、平成31年度から2年をめどに、茅野市と市民組織が公民協働事業のあり方、新しい事業展開等について、検討を進めていくことを確認しました。

取組み項目②	② 情報を共有する
取組み方法	会議内容のまとめ・資料・議事録を次回会議前に、欠席者を含め全員にメールで送付し、確認していただき、会議冒頭で前回会議のまとめを行っています。
取組み状況	会議参加者の間で、会議内容・状況確認を意識合わせし、スムーズに次の会議に入れるようにしています。

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	ちの地区コミュニティ運営協議会
取組み項目①	①目的を共有する ④丁寧な合意形成を図る
取組み方法	ちの地区災害時相互応援活動協定に伴う応援活動訓練の目的を、運協幹事会、区長会での内容の協議、リハーサルの実施。 消防ちの分団の協力を得ることで応急処置についての講習の実施。
取組み状況	横内区で実施することとなり、リハーサル実施しましたが、当日は台風の影響でちの地区コミュニティセンターで実施。 パッククッキングでの炊き出し。 防災無線の取扱。 消防団での応急処置について。 浄水器のデモの実施。
取組み項目②	②情報を共有する
取組み方法	運協幹事会、各部会、区長会での活動状況などの情報を共有する。 1 コミュニティ通信、うんきょうINFOなどでの情報提供。 2 子育て部会での、永明小中建替え検討委員会の状況報告。
取組み状況	コミュニティ通信を年3回、うんきょうINFO年2回の発行により、区民からの相談があり、運協が知られてきていることを実感している。

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	宮川地区コミュニティ運営協議会
-------	-----------------

取組み項目①	② 情報を共有する
取組み方法	情報を共有するためには、人と人の繋がり一番大切考え繋がるための機会や場所を設ける。
取組み状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区内の各団体等の代表者が出席する運協全体会に合わせ“情報交換懇親会”を開催し、年度当初に顔と顔を合わせる機会を設けた。 2 地区内商業施設の協力のもと情報掲示板を設置し、地区内の情報を積極的に発信する場を設けた。 3 地区共通テーマである「防災」の意識を高めるため、“防災かわら版”を作成し、2ヶ月に1回各戸に配布した。

取組み項目②	
取組み方法	
取組み状況	

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	米沢地区コミュニティ運営協議会
-------	-----------------

取組み項目①	② 情報を共有する
取組み方法	運営委員会における地区の将来像、行動計画の策定に関し、方向性や手段を共有するため、次の取組を行っている。 1 委員の意見等をまとめ、開催通知に併せて送付し確認を行う 2 会議前に前回の要点を再確認する
取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容を文面でまとめ確認し認識あわせをすることで、次の会議での発展的な意見につながっている。 ・情報共有は、振り返り等を通じ「目的の共有化」ともなっている。 ・情報共有により、次年度役員への引き継ぎがスムーズに行われ、1からのスタートとならないことが期待される。

取組み項目②	⑤ 対等な立場で相手を尊重する
取組み方法	会議の前段、その日の会議の進め方の中で会議の目的や相手の意見を否定しないなどの確認を行ったうえで会議を行っている。
取組み状況	お互いの意見を摺り合わせ、より良い考えを導こうとする気運が醸成されつつある。また、そのことが「丁寧に合意形成」が必要であるとの認識や「コミュニケーションを大切にする」ことにもつながっている。

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	豊平地区コミュニティ運営協議会
-------	-----------------

取り組み項目①	① 目的を共有する
取り組み方法	運協役員と各区長・自治会長による事前の防災訓練の協議、リハーサルの実施。
取り組み状況	H30は運協役員と区長自治会長で豊平地区総合防災訓練(HUG)実施に向けた事前打ち合わせを行った結果、当日の訓練がスムーズに行えた。

取り組み項目②	
取り組み方法	
取り組み状況	

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	玉川地区コミュニティ運営協議会
取り組み項目①	②情報を共有する
取り組み方法	会議の中で、事務局が把握している情報や、委員からの情報などを提供し、委員全員が情報共有できるようにする。
取り組み状況	運営協議会正副会長会（毎月開催）、運営協議会幹事会（年7回）を開催する中で、運協各団体の活動状況や課題などを常に情報共有している。 また、区長会、分主会、地区社協の会議でも、運協全体の情報を提供し、各団体でも運協の活動などの情報共有を行っている。
取り組み項目②	①目的を共有する ③パートナーシップのまちづくりを理解する
取り組み方法	運営協議会幹事会、区長会、分主会など、任期が切り替わったところで、「パートナーシップのまちづくり」、「運営協議会」、について説明し、「パートナーシップのまちづくり」や「運営協議会」を理解してもらう。 また、「きずなプラン」を説明することにより、玉川地区が進める事業の目的や、玉川地区が目指す姿などを示し、会や事業の目的を共有する。
取り組み状況	平成31年運営協議会幹事会、区長会、分主会の最初の会議で、「パートナーシップのまちづくり」、「運営協議会」、「きずなプラン」の説明を行った。 少しでも理解してもらえるように、毎年継続して繰り返し説明を行ってゆく。

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	泉野地区コミュニティ運営協議会
-------	-----------------

取組み項目①	② 情報を共有す
取組み方法	<p>運協役員、各団体と、活動状況や事業内容の共有を行っている。</p> <p>1 コミュニティだよりで事業内容、実施結果を掲載</p> <p>2 各団体の会議等で他団体の活動状況や、事業内容等の報告</p>
取組み状況	<p>運協総会は度初めの1回開催となっている為、コミュニティだより各団体の会議等で取り組み、事業内容の情報提供を行ってきた。</p> <p>今後は、各部会や役員会の開催も必要ではないかと感じている。</p>

取組み項目②	
取組み方法	
取組み状況	

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	金沢地区コミュニティ運営協議会
取組み項目①	②情報を共有する ⑥コミュニケーションを大切にする
取組み方法	金沢の未来を考える研究会（運協歴代役員や現在の部会長、専門部会長及び有識者等の集まり）を定期的で開催し、地域課題に対する情報交換や意識の共有化を図る。（概ね月1回開催）
取組み状況	<p>メンバーは金沢地区のコミュニティ活動の中心となる人たちであり、地域課題に対し常に関心を持ち、情報収集や実践（コミュニティー活動）を行っている。</p> <p>研究会で以前から取り組んでいる観光まちづくりに関し、湖東笹原地区の取組み（古民家再生やブランド作り、移住促進など）を参考とするため、直接話を聞きに行き、その後すぐに勉強会を開催して、全員で情報の共有化を図った。現在、金沢地区にも活かせないか検討を進めている。</p> <p>また、観光まちづくりのツールとして作製した史跡案内看板は、元となるマップ作成から看板作製まで、全員で勉強し協力しながら進めており、金沢地区の歴史の見える化に繋がっている。</p>
取組み項目②	③パートナーシップのまちづくりを理解する
取組み方法	パートナーシップのまちづくりについて、機会あるごとに説明をする
取組み状況	<p>パートナーシップのまちづくりや運協という組織について、運協総会時に説明を行った。</p> <p>それぞれの理解も深まってきてはいるが、歴史ある既存の組織や慣習等があり、まだまだ認知度は低い。総会等会議に出席する人は意識の高い人であり、その人たち以外に広めていくことが必要である。</p>

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	湖東地区コミュニティ運営協議会
-------	-----------------

取組み項目①	② 情報を共有する
取組み方法	運協が共催している「湖東公民館まつり」に、先駆けた取り組みを行っているモデル地区を紹介するため、まちづくりブースを新設することとした。
取組み状況	笠原区などが独自ブランドとして商品開発した地元産の農産物や加工品を展示し、その商品の一部である「あまざけ」は、試飲を行った。

取組み項目②	② 情報を共有する
取組み方法	地区内の健康づくりに関する活動を推進するための場づくりを設けることとした。
取組み状況	運協の地域自治部会（区長会）にて、保健福祉サービスセンター職員と協力し湖東地区の健康状況や住民参加型の活動について説明を行った。また、湖東担当職員からは、他地区における活動状況を参考事例として紹介した。

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団 体 名	北山地区コミュニティ運営協議会
取組み項目①	② 情報を共有する
取組み方法	コミュニティ運営協議会が地域活動を行うに当たっては、取組に関する情報の共有をする以前に、地域づくりのための基礎情報が不足している。北山地区は人口減少が大きな課題であり、あらゆる機会を捉えて、この課題を住民に周知していくこととした。
取組み状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 運協総会、社協総会などで人口推計データを示した。 2 福祉推進委員等の研修会で人口推計データを示した。 3 各区・自治会での地域懇談会で人口推計データを示した。 4 まちづくり懇談会で人口推計データを示した。 5 運協主催の演劇公演チラシの裏面に、北山地区の課題として人口減少等を取り上げ、人口推計データを提示し、全戸配布した。 6 3月発行のコミュニティだよりを人口減少の特集とする予定。
取組み項目②	
取組み方法	
取組み状況	

大きな共通課題の解決に向けた平成30年度の具体的な取り組み

○推進会議で確認された主な共通課題

① 目的を共有する	⑥ コミュニケーションを大切にする
② 情報を共有する	⑦ 各種団体・組織・機関との連携と関係性の理解
③ パートナーシップのまちづくりを理解する	⑧ モチベーション(市民参加の意識)を高める
④ 丁寧に合意形成を図る	⑨ 住民の自立と主体的な活動の推進
⑤ 対等な立場で相手を尊重する	⑩ 人材を育成する

○各種団体で具体的に取り組んでいること

団体名	中大塩地区区長会（中大塩ふりかえりの会）
-----	----------------------

取り組み項目①	② 情報を共有する
取り組み方法	<p>区長会、自主防災会、公民館、環境自治会、子ども会育成会、環境自治会、社会福祉協議会、福祉会、保健補導員、蓼科クラブ（高齢者クラブ）、はなみずきの会、中大塩ファーム、少年育成委員、こども館運営員会、ころころ広場の各団体に「ふるさとぬくもりプラン（地域行動計画）」ふりかえり用紙へ、1年間の活動内容と良かった点、改善が必要と感じる点をまとめてもらう。</p> <p>11月下旬に発表会を開催し、各団体の主な活動内容についてプロジェクター等を使いながら発表する。</p>
取り組み状況	<p>平成24年から続いている会なので、これからも継続することが必要だと感じる。</p> <p>各団体の情報が共有されていると思う。</p>

取り組み項目②	
取り組み方法	
取り組み状況	

○茅野市パートナーシップのまちづくり推進会議準備委員会設置要領(案)

平成 年 月 日

(設置)

第1条 茅野市パートナーシップのまちづくり推進会議（以下、「推進会議」という。）の開催にあたり、公民協働の理念に基づき会議の円滑かつ効果的な運営を図ることを目的にその準備機関として、茅野市パートナーシップのまちづくり推進会議準備委員会（以下、「準備委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 準備委員会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 推進会議の協議事項及び年間開催計画案に関すること
- (2) 推進会議における委員等の参集範囲、成果目標、会議手法、評価方針、会議運営方針案に関すること
- (3) 推進会議における会議資料案に関すること
- (4) その他推進会議の開催準備について必要なこと

(組織)

第3条 準備委員会は、推進会議の委員の内から互選により委員8人以内をもって組織する。

(委員長及び副委員長)

第4条 準備委員会に委員長1人及び副委員長1人を置き、準備委員会において互選する。

- 2 委員長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 準備委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 準備委員会は、必要に応じて委員以外の関係者及び関係課の職員の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第6条 事務局は、パートナーシップのまちづくり推進課に置く。

- 2 事務局に事務局長及び事務局員を置く。
- 3 事務局長はパートナーシップのまちづくり推進課長をもって充てる。
- 4 事務局員は、パートナーシップのまちづくり推進課の職員及び関係課の職員のうちから事務局長が指名した者をもって充てる。

(補則)

第7条 この要綱の定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

制定文

平成31年4月1日から施行する。

まちづくりの課題
(生活課題)

市民

区・自治会
地区社協
各種団体

地区コミュニティ運営協議会
(地区におけるプラットフォーム)
「事務局:地区コミュニティセンター」

分野別市民活動団体
商店・企業・農家
ボランティア・NPOの団体
社会福祉協議会

市民活動センター ゆいわーく

茅野市パートナーシップのまちづくり推進会議
(まちづくりの協働の取組に関するプラットフォーム)
まちづくりの課題を協働して解決を図るために、
知って、気づいて、つながりをもって